

シンポジウム  
Symposium

## 第8回 日中酵素技術シンポジウム

2025年11月1日、第8回日中酵素技術シンポジウムを、当社と江南大学および嘉興未来食品研究院との共催で、中国浙江省嘉興市にて開催しました。本シンポジウムは、酵素分野の日本と中国の研究者が直接交流し、知見や技術を共有することで、アジア地域における酵素応用の更なる発展に寄与することを目的としており、2011年の第1回以来、隔年で継続的に開催しています。

今回は、中国社会における高齢化の進行や国民の健康志向の高まりといった背景を踏まえ、「健康食品と酵素」をテーマとして企画しました。日本および中国から計8名の研究者・専門家が登壇し、健康食品分野における酵素の安全性評価、製品開発への応用事例、最新の研究成果や分析技術、さらに市場動向など、多角的な視点から講演が行われました。日本からは広島大学の加藤範久教授、京都大学の岸野重信准教授がご登壇され、専門分野の最新研究成果をご発表いただきました。

当日は企業・大学・研究機関から総勢113名にお集まりいただき、活発な質疑応答や意見交換が行われました。共同研究や産学連携の可能性についても

議論が深まり、国境を越えたネットワーク形成の重要性をあらためて確認しました。当社は、今後も本シンポジウムのような国際的な交流の機会を大切にし、中国と日本の研究協力や産業界との連携を通じて、酵素技術のさらなる発展と社会への貢献を目指してまいります。



## 演者・所属

樊永祥	国家食品安全リスク評価中心
加藤範久	広島大学
岸野重信	京都大学
丁钢强	中国疾病予防管理センター
游丽君	華南理工大学
于浩然	浙江大学化学
刘潇	江南大学未来食品科学中心
石垣佑記	天野エンザイム

シンポジウム  
Symposium

## Enzyme workshop at CPHI &amp; PMEC India 2025

2025年11月25日、インド・デリーにて「酵素を用いた医薬品合成」をテーマとしたワークショップを主催しました。本ワークショップは、医薬原薬分野における世界最大規模の展示会CPHI & PMEC India 2025への当社出展に合わせ、医薬品合成分野における酵素利用のさらなる普及を目的として実施したものです。

当日は、日本より富山県立大学名誉教授の浅野泰久先生（現AEnzam社）、インドよりCSIR-インド化学技術研究所のThenkrishnan Kumaraguru先生をお招きし、酵素技術の特長や実用例について、専門的かつ示唆に富むご講演をいただきました。会場には多

くの関係者が来場し、講演後の質疑応答や意見交換も活発に行われました。

インドは中国と並ぶ世界最大級の医薬原薬供給地域です。当社は、本地域における酵素法の展開を通じて、持続可能な医薬品製造の実現と、環境負荷低減をはじめとするGreen Chemistryの推進に貢献してまいります。

